

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 17 2021年11月18日(木)

文責:プファイル・辰巳

ドイツの並木道

「道」を意味するドイツ語にはいろいろありますね。

Straße(通り), Weg(道, 道程), Pfad(小道),

Gasse(路地)…そして並木道は, Allee。私は Allee

が大好きです。生命力があふれ出す春の新緑, 涼し気な影

を落とす夏の深緑, 秋の紅葉, そして冬枯れの枝だけになっ

た姿でさえも, 樹々がどっしりと大地に根を下ろし, 道の両側にたくましく立っている

様子は, 自然の偉大さと安定感を感じます。

日本人学校玄関前の桜並木の葉っぱもいよいよ落ちてしまい, 冬将軍の足音が聞こえてきそうな季節になりました。



ミニコンサート ただ今受付中!

ミニコンサートの申し込みを受け付けています。コロナ禍にあり, これまでと違っている点がありますので, よくお読みいただき, ご理解をお願いいたします。また, 感染状況が悪化してきていますので, 更なる変更ややむなく中止という状況も考えられます。今後の動向にご注意ください。

申し込み締め切りは 11月22日(月)です。

音楽こぼれ話 < 追悼 コロラトゥーラの女王

エディタ・グルベローヴァ >

クラシック音楽界で「ソプラノ歌手」と呼ばれる方たちは, さらにその声質や得意な歌い方により, 「コロラトゥーラ・ソプラノ」や「ドラマティコ・ソプラノ」などに分類されま

す。ドラマティコは力強く, 表情豊かな声と歌い方が特徴で, コロラトゥーラは軽い声質と細かな音符を軽快に歌いこなす技量が特徴です。

エディタ・グルベローヴァは, この「コロラトゥーラの女王」と呼ばれたソプラノ歌手でした。1946年, 当時のチェコスロヴァキア(現在のスロヴァキア)のブラティスラヴァに生まれました。同地の音楽院で学んだ後, プラハやウィーンでさらに研鑽を積み, ブラティスラヴァの歌劇場でデビューした時は, 若干22歳でした。1970年からはウィーン歌劇場と契約を結び, 1973年からはザルツブルク音楽祭にも出演しました。

その軽やかで美しい歌声と, 細かな音符を歌いこなす驚異的な技巧を持っていたので, 「コロラトゥーラの女王」と呼ばれるようになりました。モーツァルトのオペラ「魔笛」の夜の女王の aria などは当たり役で, ミラノのスカラ座, ロンドンのロイヤルオペラ, パリのオペラ座など各地のオペラ劇場から出演依頼が殺到しました。

2019年3月のバイエルン国立歌劇場(ミュンヘン)での公演が最後の舞台となるまで, 20世紀後半から21世紀初頭にかけて, 当代を代表するソプラノ歌手の一人でした。

残念なことに, このグルベローヴァが, 10月18日に死去されたという訃報が入りました。人生の最後はスイスのチューリヒで過ごされていたとのこと, 74歳でした。

ちょっとだけ 演奏会情報

ヘッセン州では, コンサート会場に入るには, ワクチンパスの所持者, または感染回復者以外の方はPCRテストが必要とのことです。これまでの簡単な抗原検査の結果だけでは入場できないので, ご注意ください。州を超えると条件が変わったり, 子どもたちの入場については別のルールが適用されたりする場合がありますので, ご確認の上, コンサート会場に向かうようにしてください。

アルテオーパー 年末のコンサート「Winterzauber(冬の魔法)」

～ ミュージカルソングのガラ・コンサート ～
(いろいろなミュージカルの曲が聴けます)

12月21日(火)～31日(金)の毎晩19:30分から 大ホールにて

(26日は午後14:30からの部もあります)